

富山湾で捕獲されたテングノタチ *Eumecichthys fiski*

稲村 修・伊串祐紀 (魚津水族館)

日本での生息が確認されているアカナマダ科魚種は、アカナマダとテングノタチの2種で(林, 2000), どちらも沖合中層性魚類のため捕獲例は少ない。今回, 当館では初記録のテングノタチが1個体持ち込まれたので報告する。

アカナマダ科 Lophotidae
テングノタチ

Eumecichthys fiski (Günther)

採集年月日: 2007年12月11日

採集地: 富山市四方定置網

採集者: 角嶋 衛(富山市)

全長 1085mm, 体長 980mm

頭長 59mm, 体高 35mm

吻長 9mm, 上顎長 14mm

眼窩径 14mm

体重 220g

鰭条数: 背鰭 304; 臀鰭 6; 尾鰭 13;

胸鰭 13

搬入時の体色は, 銀白色の体表に44本の暗横帯が確認できた。さらに, 背鰭と尾鰭は鮮赤色を呈していた。

近年, 日本海沿岸においては2005年に山口県長門市仙崎湾, 2002年に石川県七尾市佐々波沖(のとじま臨海公園水族館, 2002)で捕獲されているが, 富山県沿岸では初記録と思われる。

なお, 本個体はホルマリン標本として当館で保存している。



引用文献

本種は, 和歌山県沖, 高知県沖, 山口県沖, 南アフリカに生息する(林, 2000)とされるが, ベーリング海にも生息している(尼岡ほか, 1995)という報告もある。主な特徴は, リボン状の体型, 突き出した頭部, 伸長した背鰭第一軟条で(尼岡ほか, 1995), 本個体も同様の特徴を有した。

尼岡邦夫・仲谷一宏・矢部 衛. 1995. 北日本魚類大図鑑. 北日本海洋センター. 98.
林 公義. 2000. アカナマダ科 解説, 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会. 403.
のとじま臨海公園水族館. 2002. 能登の海からのたより. 9.